

令和8年9月9日

中学校3年生生徒の保護者の皆様

苫小牧市立勇払中学校長 新倉 順治

令和8年度全国学力・学習状況調査の調査結果について

秋涼の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、本年4月23日（木）に実施しました全国学力・学習状況調査の結果が本年7月に文部科学省から公表され、苫小牧市でも8月に公表されました。

本調査は学習指導要領の定着状況の把握、すなわち生徒が学習内容をどの程度理解しているかを把握することとともに、調査結果の分析から生徒への指導の充実や学習状況の改善等を図ることを目的としています。苫小牧市は、市全体の平均正答数及び平均正答率を公表することとしておりますが、各学校の平均正答数及び平均正答率の公表については、本調査の目的と整合が図られないこと、学校の序列化を回避することが困難であることなどの理由から、行っておりません。

これを踏まえて、本校の結果と考察をまとめましたので、次のとおりお知らせします。

記

1 調査の概要

(1) 実施日

令和8年4月23日（木）

(2) 調査対象

中学校第3学年

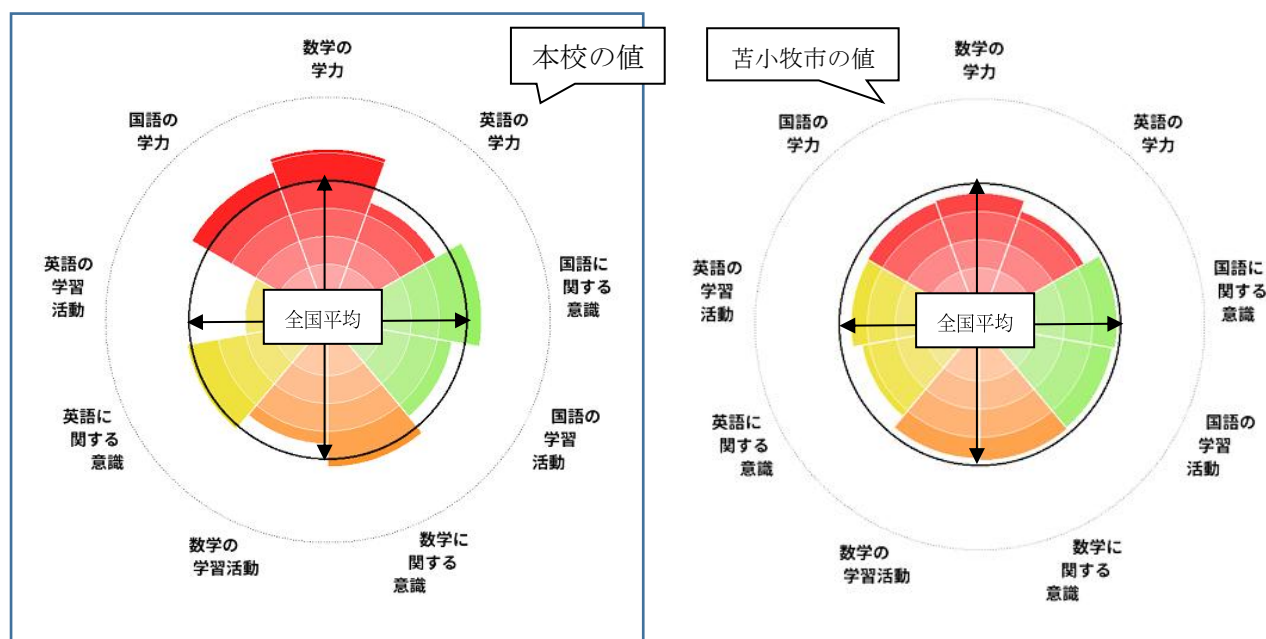
(3) 調査内容等

- ① 教科に関する調査は、国語、数学、英語の3教科が出題されました。
- ② 生活習慣、学習環境等に関する生徒質問調査が実施されました。
- ③ 学校に対して、指導方法や教育条件の整備等に関する質問紙調査が実施されました。

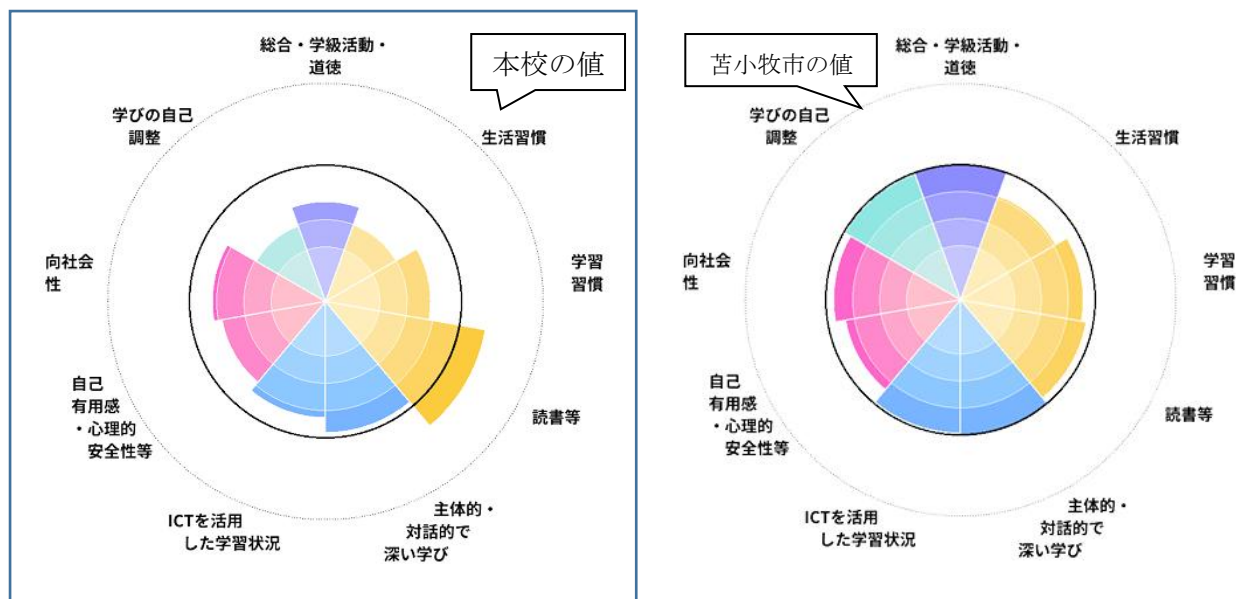
2 本校の結果と考察

(1) 全国平均と本校の比較

【教科を中心とした学力・学習状況】



【その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）】



(2) 国語

- ・平均正答率が全国平均を上回り、中・上位層が厚い分布となっている。
- ・知識及び技能にかかわる「情報の扱い方に関する事項」と、思考力・判断力・表現力等にかかわる「読むこと」において、全国平均を上回っている。
- ・設問別では、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈する問題において、特に正答率が高かった。一方、必要に応じて質問しながら話の内容を捉える問題において、やや課題が見られた。

(3) 数学

- ・平均正答率が全国平均を上回り、中・上位層が厚い分布となっている。
- ・「数と式」、「図形」、「関数」において、全国平均を上回っている。
- ・設問別では、数学的に表現したことを事象に即して解釈し、課題解決の方法を数学的に説明する問題において、特に正答率が高かった。一方、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明する問題において、やや課題が見られた。

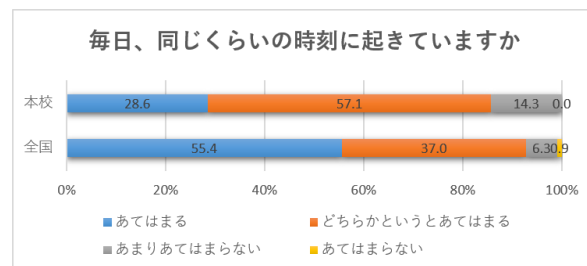
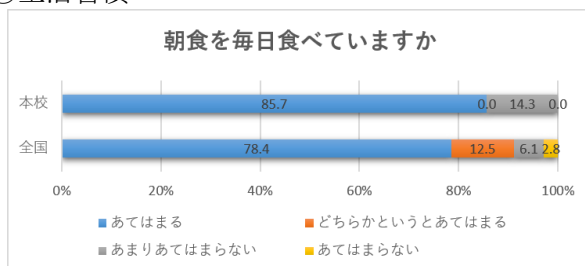
(4) 英語

- ・平均正答率が全国平均を下回り、中・下位層が厚い分布となっている。
- ・「読むこと・書くこと」、「話すこと」において、全国平均とほぼ同等であったが、「聞くこと」において、全国平均を下回っている。
- ・設問別では、音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションで活用する問題において、正答率が高かった。一方、社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書く問題において、課題が見られた。

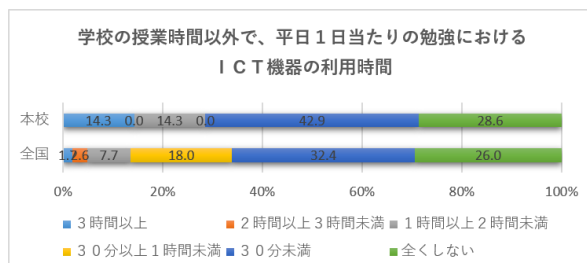
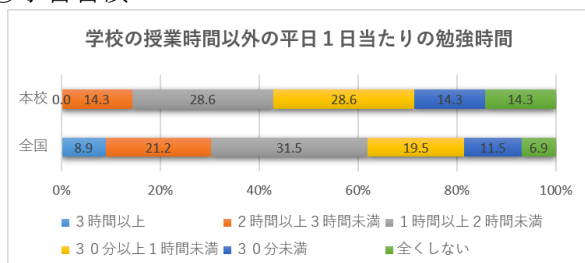
(5) 生徒質問調査

- ・起床のリズムは全国平均と若干の差異が見られているが、朝食は概ね摂取されている。
- ・学校の授業以外での学習時間は全国平均と開きがあるが、ICTは積極的に活用されている。
- ・読書は短時間ながらも定着しており、図書室も有効に利用されている。
- ・自己有用感等は概ね良好であるが、あてはまる割合をさらに向上させたい。
- ・向社会性は概ね良好であるが、地域や社会への貢献では若干課題も見られた。
- ・総合・学活・道徳は話し合い活動等で概ね良好な結果だが、一部で課題も見られた。
- ・主体的な学習の調整は概ね全国平均と同等だが、あてはまる割合をさらに向上させたい。

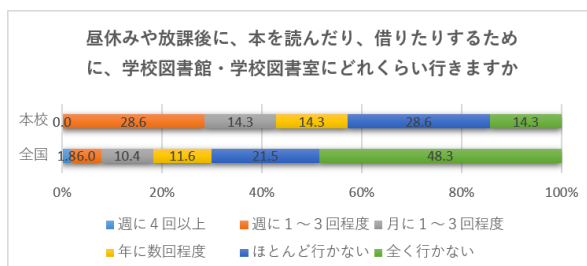
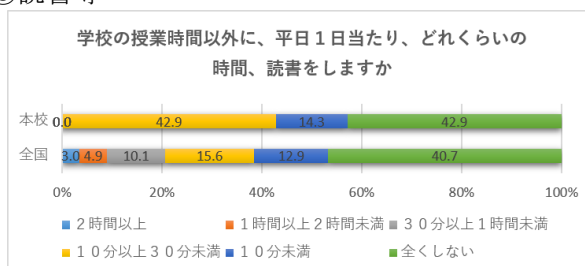
①生活習慣



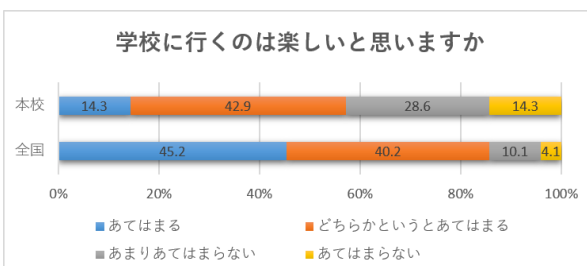
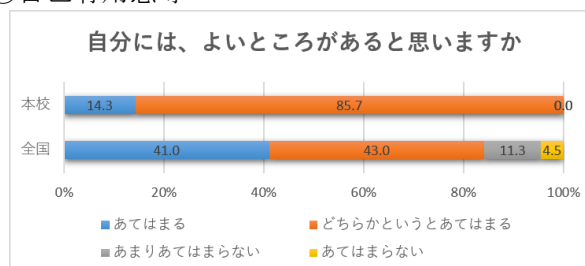
②学習習慣



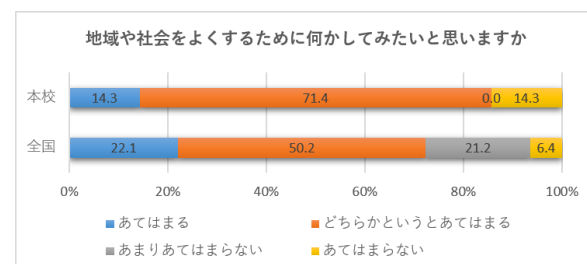
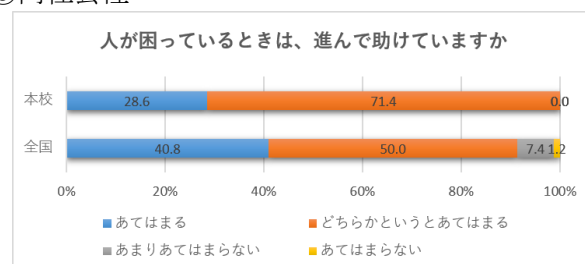
③読書等



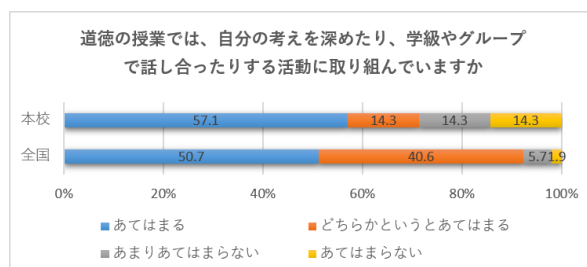
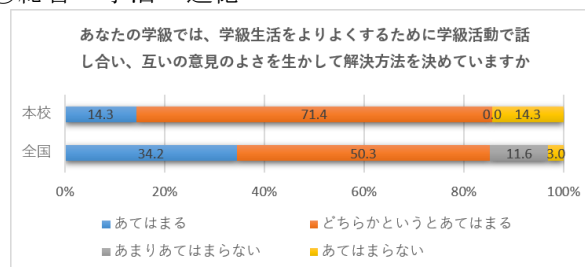
④自己有用感等



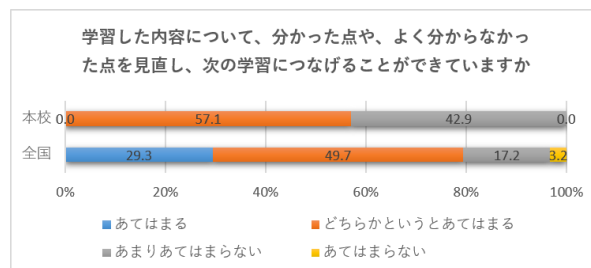
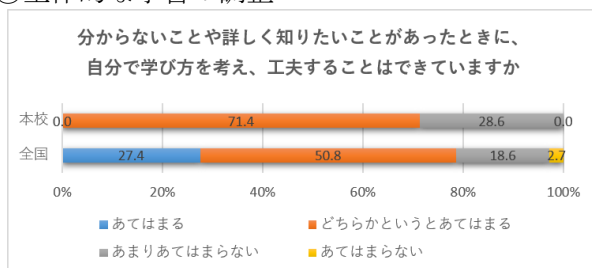
⑤向社会的性



⑥総合・学活・道徳



⑦主体的な学習の調整



3 学校の今後の取組について

(1) 教科について

①国語

【学校では】・現在の学力をさらに伸ばしていけるよう、要約や解釈の学習を継続するとともに、話の内容の深い理解につながる質問を工夫する学習活動に力を入れていきます。

【家庭では】・読書に親しむとともに、ICT機器の一層の活用や副教材を反復利用した家庭学習への取組にお声かけの協力をお願いいたします。

②数学

【学校では】・課題解決において数学的な思考ができるよさをさらに伸ばしていくとともに、資料やデータを整理し、判断や表現をする学習活動に力を入れていきます。

【家庭では】・基本的な知識と技能の定着が見られますので、思考・判断・表現力のさらなる向上に向け、ワーク等の発展的な問題への挑戦のお声かけの協力をお願いします。

③英語

【学校では】・コミュニケーションの良さを生かし、英語に触れる機会を増やすとともに、社会的な話題の問題について自分の考えを表現する学習活動に力を入れていきます。

【家庭では】・英語を聞くことを重視した家庭学習として、持ち帰りのタブレット端末が有効となりますので、積極的に活用されますようお声かけの協力をお願いします。

(2) 生活習慣・学習習慣について

【学校では】・何事も自分事としてとらえ、自分の考えを持たせるとともに、他者と協働する態度を育成し、課題解決に向けて、話し合う活動等の推進に努めていきます。

- ・小規模校においても友人関係が広げられるよう工夫するとともに、授業や行事等、教育活動全体を通して自己有用感が味わえる機会設定に努めていきます。

- ・朝の読書活動を継続していくとともに、新聞記事についての話題を提供するため、引き続き、生徒玄関にて実際の新聞に触れやすい環境を整えていきます。

【家庭では】・心身の健全な育成に向けて、規則的な生活習慣や健康的な食習慣、適度な運動の継続についてご支援をお願いします。

- ・生徒の自律を尊重した家庭学習について見守りいただくとともに、学習端末を持ち帰った際の活用についてご支援をお願いいたします。

- ・将来の社会的な自立に向け、夢について話したり、社会性の伸長に向け、地域行事に参加したり、親子の触れ合いの時間確保にご協力をお願いします。

【勇払中学校区が目指す15歳の姿】

○勇払の伝統を受け継ぎ、さらに前進する生徒

【育成を目指す資質・能力】

○学んだことを活用し、実践する力

○他者とのかかわりの中で共感し、自律する力

○社会や世界の一員としてよりよい生き方を考え、協働する力